



仙台市水道局キャラクター

ウォーターくん

平成 29 年度事業報告

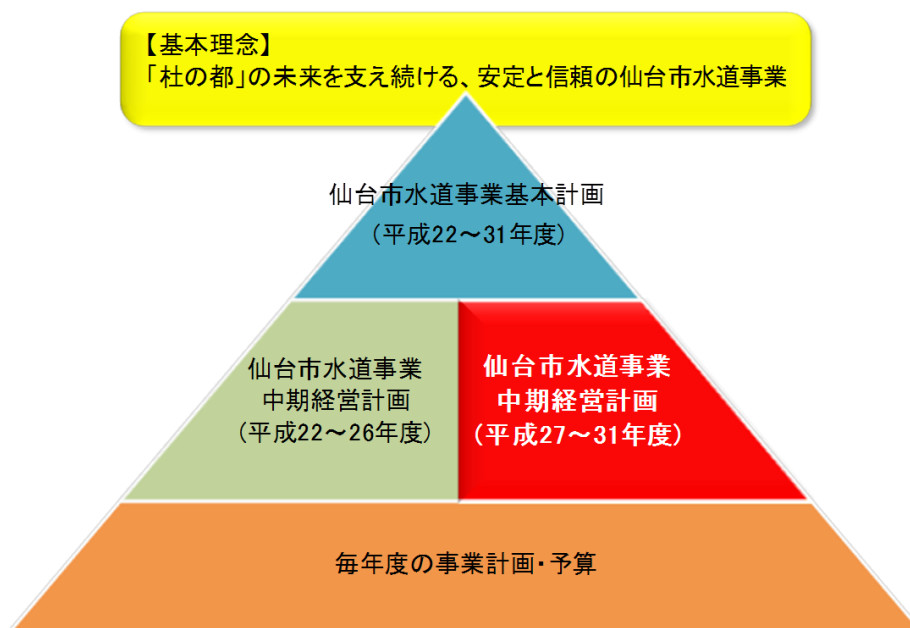
仙台市水道局

1. はじめに

- 仙台市水道局では、平成 22 年 3 月に策定した「仙台市水道事業基本計画（平成 22 年度～平成 31 年度）」（以下「基本計画」という。）及びその後半 5 年間の実施計画である「仙台市水道事業中期経営計画（平成 27 年度～平成 31 年度）」（以下「中期経営計画」という。）に基づき、各年度の事業に取り組んでいます。

このたび、平成 29 年度における事業計画がまとまりましたので、お知らせいたします。

図 1 仙台市水道事業の計画体系



2. 決算の概況

- 本年度の水道事業は、「仙台市水道事業中期経営計画」（平成 27～31 年度）に基づき、計画に掲げる事業を着実に推進し、強くて安心な水道，エコで持続可能な水道づくりに取り組みながら，お客さまへの安全・安心で良質な水道水の安定供給に努めてまいりました。
- 事業実績につきましては，年間総配水量が 1 億 2,013 万 8 千立方メートル，前年度比 36 万 7 千立方メートル（0.3%）増，年間有収水量が 1 億 1,353 万 5 千立方メートル，前年度比 10 万 6 千立方メートル（0.1%）増となり，有収率は前年度より 0.2 ポイント低下して 94.5%となりました。
- 経営面につきましては，災害に強い施設・システムの整備，災害対応力の強化，水質管理の徹底など，強靱性や安全性の向上に取り組むとともに，水道料金のクレジットカード決済や基本料金の日割り計算の開始，アセットマネジメントの推進など，お客さまサービスの向上や経営基盤の強化にも努めました。
- 次に，建設改良事業につきましては，配水管整備事業で，基幹管路の新設工事や配水支管の更新工事などを行い，50 億 8 千 8 百万円を支出し，配水管延べ 32,204 メートルを布設しました。また，施設整備事業では，青葉山隧道改良工事，荒巻配水所更新工事，災害時給水栓設置工事などの災害対策関連事業を行ったほか，茂庭浄水場 P A C 注入設備更新工事，福岡取水場粉末活性炭注入設備新設工事などを行い，51 億 1 千 2 百万円を支出しました。
- 財政状況につきましては，収益的収支（消費税及び地方消費税抜き）において，総収益 281 億 6 千 1 百万円に対し，総費用 252 億 1 千 7 百万円で，差引 29 億 4 千 4 百万円の純利益となりました。
- 以上が決算の概況でございますが，今後も計画的かつ効率的な事業運営による経営基盤の強化やサービスの向上に努め，安全で良質な水道水を安定的に供給していくことを通じて，お客さまと地域社会に一層信頼される水道事業を目指してまいります。

3. 事業実績

区 分 \ 年 度	単 位	平成29年度 (E)	平成28年度 (F)	対前年度比較	
				増減(△減) (E-F)	比率 (E/F)%
計画給水区域内人口 (A)	人	1,059,645	1,056,783	2,862	100.3
給水人口 (B)	人	1,056,300	1,053,406	2,894	100.3
年間総配水量 (C)	m ³	120,138,044	119,770,700	367,344	100.3
(仙台市配水量)	m ³	(115,970,825)	(115,629,126)	(341,699)	(100.3)
(他市町分水量)	m ³	(4,167,219)	(4,141,574)	(25,645)	(100.6)
配水能力	m ³ /日	426,325	427,615	△ 1,290	99.7
一日平均配水量	m ³	329,145	328,139	1,006	100.3
一日最大配水量	m ³	358,848	356,781	2,067	100.6
使用給水栓数	栓	453,004	447,225	5,779	101.3
年間有効水量	m ³	116,278,963	116,145,625	133,338	100.1
年間有収水量 (D)	m ³	113,534,750	113,429,031	105,719	100.1
配水管延長	km	3,447	3,442	5	100.1
職員数 (管理者除く)	人	408	407	1	100.2
普及率 (B/A)	%	99.7	99.7	0.0	-
有収率 (D/C)	%	94.5	94.7	△ 0.2	-

4. 財政状況

水道料金収入などの収益的収入が 281 億 6,100 万円となる一方で、人件費、物件費などの収益的支出が 252 億 1,700 万円となり、その結果、29 億 4,400 万円の純利益（黒字）となりました。この純利益については、全額を減債積立金（借入金の返済に充てるための積立金）として積み立てました。

(1) 収益的収支

- 水道水をつくり、ご家庭にお届けするための財源と経費です。

収入 281億6,100万円

お客さまからの水道料金 231億2,800万円	その他 50億3,300万円
----------------------------	-------------------

支出 252億1,700万円

人件費 32億 2,200万円	物件費など 75億5,800万円	受水費 58億1,600万円	減価償却費 74億6,500万円	支払利息 11億 5,600万円
-----------------------	---------------------	-------------------	---------------------	------------------------

当年度純利益29億4,400万円

県などから浄水を
購入するための費用

水道施設などの資産価値の
目減り分を毎年の費用とし
て計上したもの

国などか
らの借入
金の利息
の返済

(2) 資本的収支

- 水道施設を建設・改良するために必要な財源と経費です。

収入 67億5,000万円

企業債 54億3,300万円	その他 13億 1,700万円	損益勘定留保資金 など 91億1,700万円
-------------------	-----------------------	---------------------------

施設の建設・改良工事のため
に国などから借りるお金

減価償却費などの現金支出を伴わない費用などを充当

支出 158億6,700万円

建設改良費 103億1,500万円	企業債償還金 55億5,200万円
----------------------	----------------------

施設の建設・改良工事のための費用

国などからの借入金の元金の
返済

(3) 前年度との比較(収益的収支)

(単位：千円)

科目	区分	平成 29 年度	平成 28 年度	増減額(△減)	比率(%)
水道事業収益		28,160,467	27,930,157	230,310	100.8
営業収益		24,826,438	24,701,116	125,322	100.5
給水収益		23,702,287	23,698,494	3,793	100
受託工事収益		49,213	48,172	1,041	102.2
その他営業収益		1,074,938	954,450	120,488	112.6
営業外収益		3,150,434	3,120,250	30,184	101.0
受取利息		986	3,033	△ 2,047	32.5
不動産賃貸料		41,810	29,359	12,451	142.4
水道加入金		1,298,188	1,215,799	82,389	106.8
他会計補助金		359,076	350,885	8,191	102.3
長期前受金戻入		1,347,593	1,402,390	△ 54,797	96.1
雑収益		36,229	118,784	△ 82,555	30.5
国庫補助金		66,552	0	66,552	皆増
特別利益		183,595	108,791	74,804	168.8
固定資産売却益		12,684	0	12,684	皆増
過年度損益修正益		170,911	5,545	165,366	3082.3
その他特別利益		0	103,246	△ 103,246	皆減
水道事業費用		25,216,799	25,941,254	△ 724,455	97.2
営業費用		22,960,853	23,498,939	△ 538,086	97.7
人件費		3,221,663	3,362,347	△ 140,684	95.8
物品費		249,166	306,314	△ 57,148	81.3
経費		5,782,500	5,884,178	△ 101,678	98.3
受水費		5,816,415	5,829,050	△ 12,635	99.8
減価償却費		7,465,433	7,365,821	99,612	101.4
資産減耗費		425,676	751,229	△ 325,553	56.7
営業外費用		1,158,739	1,334,922	△ 176,183	86.8
支払利息		1,156,336	1,259,929	△ 103,593	91.8
雑支出		2,403	30,437	△ 28,034	7.9
繰延資産償却		0	44,556	△ 44,556	皆減
特別損失		1,097,207	1,107,393	△ 10,186	99.1
過年度損益修正損		1,091,616	23,796	1,067,820	4587.4
固定資産売却損		2,811	0	2,811	皆増
その他特別損失		2,780	1,083,597	△ 1,080,817	0.3
当年度純損益		2,943,668	1,988,903	954,765	148.0

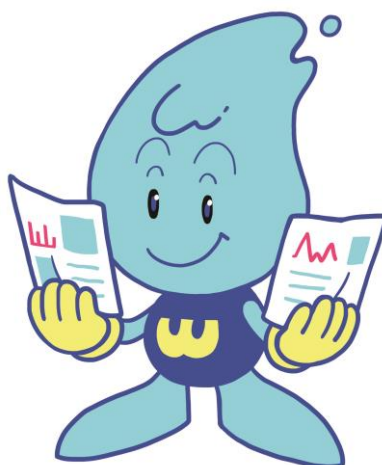
(注) 消費税及び地方消費税抜きの額である。

(4) 前年度との比較(資本的収支)

(単位：千円)

科目	区分	平成 29 年度	平成 28 年度	増減額(△減)	比率(%)
水道事業資本的収入		6,749,806	6,337,909	411,897	106.5
企業債		5,433,000	5,148,000	285,000	105.5
固定資産売却代金		1,529	0	1,529	皆増
出資金		681,544	644,521	37,023	105.7
国庫補助金		240,405	121,378	119,027	198.1
開発負担金		249,328	317,440	△ 68,112	78.5
負担金		132,263	90,758	41,505	145.7
その他資本的収入		11,737	15,812	△ 4,075	74.2
水道事業資本的支出		15,867,181	15,968,800	△ 101,619	99.4
建設改良費		10,315,664	10,730,416	△ 414,752	96.1
配水管整備事業費		5,088,441	5,208,035	△ 119,594	97.7
施設整備事業費		5,112,076	5,397,036	△ 284,960	94.7
受託等工事費		115,147	125,345	△ 10,198	91.9
企業債償還金		5,551,517	5,238,384	313,133	106.0
差引		△9,117,375	△9,630,891	513,516	94.7

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。



5. 主な実施事業

- 平成 29 年度に実施した主な事業を「水道事業中期経営計画」における 2 つの『目指すべき将来像』に沿ってご紹介します。

※【 】内の金額は平成 29 年度の事業費です。

1 強くて安心な水道

(1) 災害に強い施設・システムの整備

- 管路の更新・耐震化【約 46 億 7,500 万円】

老朽管など約 24.4km を耐震性に優れた水道管へ更新し、災害医療の拠点となる病院への配水経路 1 ヶ所を耐震化しました。

- 浄・配水施設の耐震化【約 22 億 200 万円】

荒巻配水所の更新や、茂庭浄水場配水池の耐震補強などを実施しました。

- 配水ブロックの再編【約 7,600 万円】

適正な水量と水圧の管理，災害時の断水などの影響範囲を縮小するため，中田・芋沢配水ブロックを再編しました。



管路の更新工事

(2) 災害対応力の強化

- 災害時給水栓の設置【約 3,600 万円】

大規模災害時などに効果的な応急給水ができるよう，市立小学校 25 校に災害時給水栓を設置しました。

(平成 30 年 11 月末 109 ヶ所設置済)

- 非常用自家発電設備の更新等【約 3 億 2,100 万円】

福岡浄水場の非常用自家発電設備の更新などを実施しました。



災害時給水栓

(3) 水質管理の徹底

- 高度浄水処理施設の導入【約 2 億 4,400 万円】

福岡浄水場に粉末活性炭注入設備を設置しました。

2 エコで持続可能な水道

(1) 環境に配慮した事業の推進

- 省エネルギー型機器への切り替え【約 1 億 6,600 万円※】※老朽更新費用を含む
福岡浄水場の受変電設備の高効率機器への更新や、国見庁舎の受変電・照明設備の更新などを実施しました。

(2) お客さま本位の事業の推進

- クレジットカード決済・基本料金の日割計算の導入
さらなるサービスの充実を図るため、水道料金のクレジットカード決済や基本料金の日割計算を導入しました。

(3) 経営マネジメントの推進

- アセットマネジメントの推進
水道施設の適切な維持管理や計画的な更新など、アセットマネジメント（資産管理）の取り組みを推進しました。

